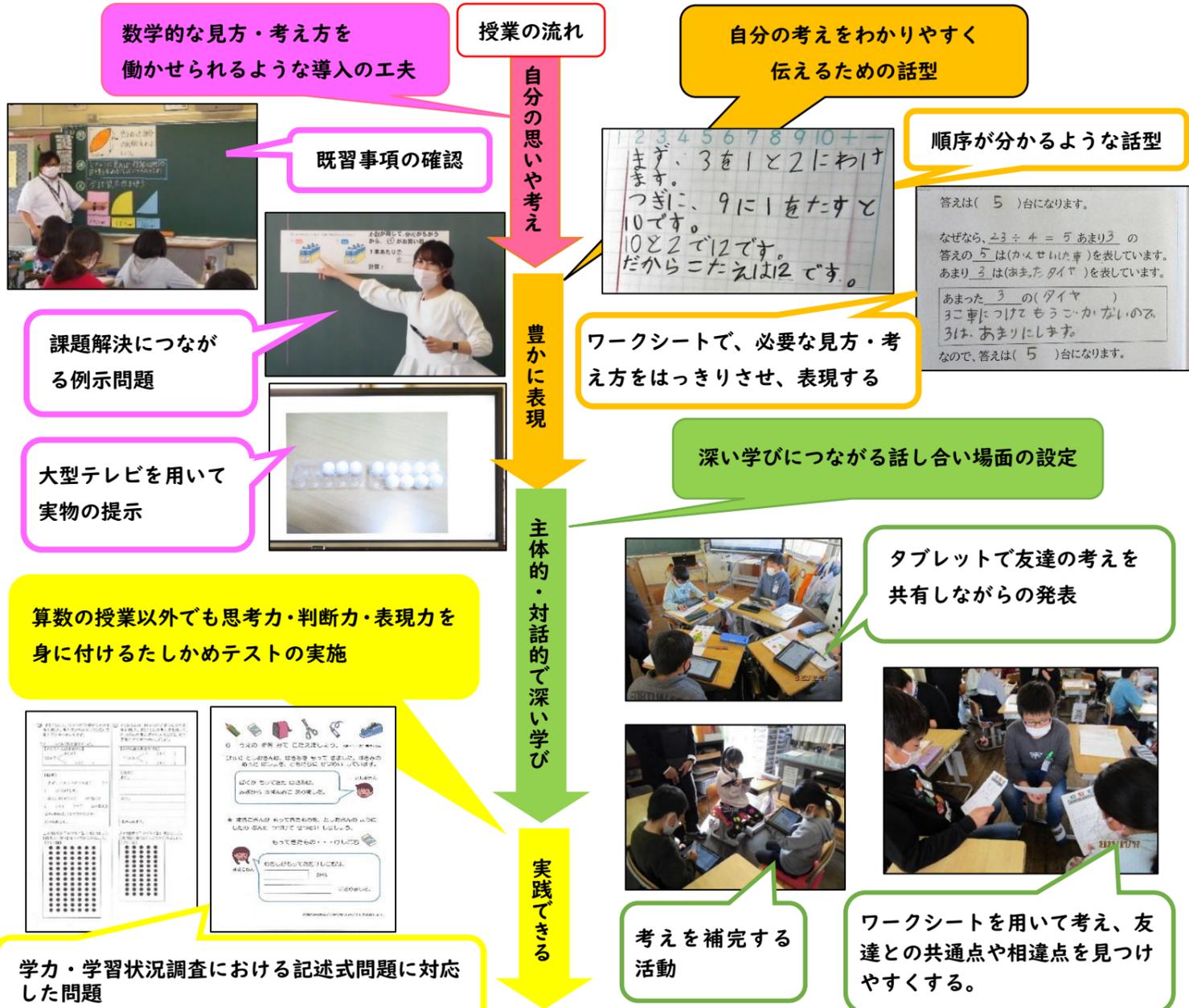


4 専門部会の取組

授業研究部

仮説1 算数の授業の中で数学的な見方・考え方を働かせ、思考力・判断力・表現力等を身に付けることで、豊かに思考し表現できる児童が育つであろう。



仮説2 ICT機器を効果的に活用し、児童の思考を活性化させることで、豊かに思考し表現できる児童が育つであろう。

調査研究・環境整備部

算数的な見方・考え方の基礎を養う「できます!(math)コーナー」の設置・充実



「長さ」感覚

「かさ」感覚

算数に関わる様々な「量」の感覚を体験的に身に付けるコーナー。様々なパターンを試し、楽しみながら1kg, 100mL, 1m², 1mなどがどのくらいであるのかを理解することができる。



「重さ」感覚

この重さが1kgなんだね。ということは、ランドセルの重さは5kgぐらいかな。

知識の定着を図る階段掲示



長方形の面積を求める公式は、たて×横だね!

学習内容を日常生活の中で振り返ることができる。

感覚と知識を試すチャレンジ問題



「できます!(math)」と「階段掲示」で、習得した知識、感覚を問題に取り組むことで発揮。先生方からの出題形式にして意欲UP!!

授業での活用

自分の考えを、図に書き込みながら説明し、クラス全体に共有できるようにした。



相手の考えがすぐに見ることができて、書き加えができるようにタブレットで画面を共有した。



朝の麻プラタイム

週2回、タブレットを使用し、県学調や全学調の類似問題を解いた。高学年では作文にも取り組んだ。



ワークシートが難易度別に見えるようにした。麻プラプリントは学校独自で作成した。



大麻生小学校コンピューカカルテ・校長先生問題 (タブレットバージョン)

各学年のタブレットの技能に差がでないように、大麻生独自のタブレット技能表を作成した。

学年	1	2	3	4	5	6
基礎	○	○	○	○	○	○
応用	○	○	○	○	○	○
発展	○	○	○	○	○	○

多目的ホールに「量感を体感できる部屋」を設置し、それに関連した問題をFormsで作成し、掲示した。

